

慈明院寺報 四月号

ほとけ おが れんしゅう
仏を拝む練習



お寺によく問い合わせがくる相談に、仏壇や神棚をどう処分したら良いかというものがある。亡くなった両親の家に大きな仏壇があるが、自分たちは引き取ってまつる事ができない。家財道具と同じように処分したら、バチが当たるんじゃないか・・・そんな不安を抱えて相談に来る方もおられる。

そんな時「仏壇拝むのはね、練習なんですよ。」と答えるようにしている。本来仏教では、仏像を造る事を禁じていたと云われている。お釈迦さまは目に見える仏像に執着しては、目に見えない本来に大切な仏教の教えがおろそかになってしまふと考えると、仏像を造る事をしなかつたそう。

しかし、お釈迦様が亡くなった後、残された弟子たちはお釈迦様の遺骨舍利を欲しがった。偉大な師匠の形見をそばに置いておきたかつたのだ。

そしてお釈迦様の舍利は八つに分けられて、ストウーパと呼ばれる仏塔が建立された。これが最初の仏教のシンボルとなつて拝む対象となつていった。

その後、紀元後一年くらいに、お釈迦様を象徴化した仏像が造られたとされている。そして、目に見えない本来に大切な仏教の教えを会得するために仏像を拝むようになり、位牌や墓石といった拝む対象が増えていった。

形あるものを拝むのはなぜか？それは目に見えない仏教の大切な教え・・・人と人との縁について深く考えたり、目に見えない心を自分自身がどう治めていくか、それらに気づくために仏壇を拝んで練習するのである。役目を終え節目を迎えた仏壇や神棚を処分するのも、目に見えない心の修行である。形がある対象が無くても、心穏やかに手をあわせられるように。それがお釈迦様の本来に大切にしかつた教えではないかと思う。

住職 合掌

春のお彼岸まいりについて

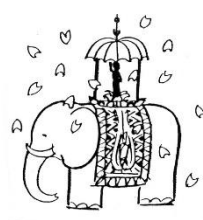
本年は三月十七日(日)より、春のお彼岸まいりをお勤めさせて頂きます。各檀家様には、すでに「お彼岸まいり」のお知らせを送らせて頂いております。お忙しい時期とは存じますが、何卒よろしくお願い申し上げます。随時、おまいりについてのお問い合わせ、変更など承ります。 住職 九拝

花まつり 自由参拝のご案内

令和六年 四月一日(月) ～ 四月八日(月)

朝九時 ～ 夕方五時位迄

花御堂に誕生仏(お釈迦様)を安置して、甘茶をそそいでご供養致します。甘茶、お楽しみ袋(お菓子詰め合わせ)をお接待致します。花御堂のお釈迦様は大師堂に安置しております。大師堂へお参り下さい。どうぞお誘い合わせの上、お参り下さいませ。(別紙参照)



住職の独り言

時川総代さんの御兄弟である

時川直久さんにご協力頂きまして、ホームページを刷新しました。下のQRコードでスマホからログインできます。検索サイトで「慈明院 福岡」で検索して頂いても表示されます。Instagramもやっています。



じみょういん

慈明院(〒八一一一三三 福岡市早良区大字西二三四一〇)

TEL(〇九二) 八〇四四四七〇 FAX(〇九二) 八〇四四六〇五

住職・吉住大慈 携帯電話〇九〇-(五二八一)-七四九四